

# JMFF

## 日機連週報

第3531号 2025年12月5日(金)

### CONTENTS

#### ● 総会報告

2025年度上期事業報告書案、理事会で決議された総合役員の選任を承認  
— 日機連、2025年度第2回社員総会関連行事を山梨県富士吉田市で開催 —

#### ● ワシントンレポート特別記事

『海事大国復活を目指す』

#### ● 政府公開情報

経済産業省 「JIS規格の総ざらいレビュー」の実施について

##### ● 日機連の動き

##### ● 会員イベント情報

(一社)日本電機工業会 第120回新エネルギー講演会

「水のチカラで未来を動かせ!~水力発電の“これから”を語ろう~」開催のお知らせ

(一社)日本電気計測器工業会

「電気計測器の中期見通し2025~2029年度」版発行・発表会(Web会議)のご案内

##### ● お知らせ

(一社)日本電気制御技術工業会

「10分でわかるDX推進の失敗事例と成功事例」創刊のお知らせ

(一社)日本電気計測器工業会 「計測展NEXT 2026

(Measurement and Control Show NEXT 2026)」出展募集のお知らせ

##### ● 機械のチカラ(第4回)

(一社)日本時計協会の概要と時計に関する情報について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 総会報告

2025 年度上期事業報告書案、理事会で決議された総合役員を選任を承認  
—日機連、2025 年度第 2 回社員総会関連行事を山梨県富士吉田市で開催—

日機連は、11 月 25 日(火)、山梨県富士吉田市のホテル鐘山苑 3 階「マーヴェラスホール」において、2025 年度第 2 回社員総会を WEB とのハイブリッドで開催した。(文責:日機連)



社員総会風景

社員総会では、東原会長の開会挨拶に続き、議事に入り、(1) 2025 年度上期事業報告書案の承認、(2) 理事会で決議された総合役員を選任に関する承認、について審議し、それぞれ原案を承認した。

総会の詳細は次のとおり。

- (1) 「2025 年度上期事業報告書案」は、総会・理事会・総合役員会等の開催内容、研究・特別委員会活動、専門部会活動、令和 8 年度税制改正に関する要望等の各種事業活動及び当会内に事務局を設置しているロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会の事業活動状況等について報告を聞き、これを承認した。
- (2) 「理事会で決議された総合役員を選任の承認」は、2025 年度第 4 回及び第 5 回理事会で決議された総合役員(9 名)の選任について承認した。(詳細については、2025 年 8 月 8 日(金)付日機連週報第 3515 号「総合役員会(書面決議)記事」、2025 年度 11 月 7 日(金)付日機連週報第 3527 号「総合役員会(書面決議)」記事参照。)



社員総会記念撮影

終了後は、記念撮影を行った後、ファナック株式会社本社(山梨県南都留郡忍野村忍草 3580)に移動し、ファナック(株) 常務理事 FA研究開発統括本部 技監の須藤雅子氏の進行で、ファナック(株)の会社概要等の説明を受け、東原会長の見学の挨拶、ファナック(株)代表取締役社長兼 CEO の山口賢治氏の挨拶の後、本社工場内の施設の視察を行った。



日機連 東原会長  
見学挨拶



ファナック(株) 常務理事  
FA研究開発統括本部  
技監 須藤雅子氏



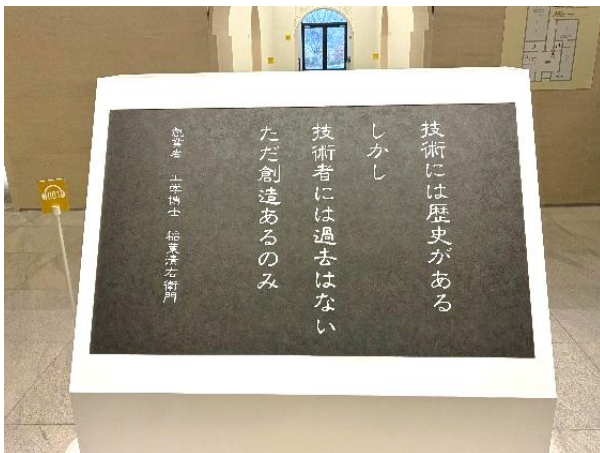
ファナック(株)  
代表取締役社長兼 CEO  
山口賢治氏

ファナック(株)の本社工場は、山梨県忍野村の緑が豊かな 54 万坪(178 万 m<sup>2</sup>)のファナックの森の中に、多くの工場が点在している。CNC、サーボンプ、サーボモータ、ロボット、ロボショット、ロボカットの組立、及び機械加工、プレス、ダイキャスト、塗装を行う 工場があり、機械加工の長時間連続 無人運転を実現する等、工場の自動化、ロボット化を積極的に推進している。



ファナック本社工場(出展:ファナック HP)

「中央テクニカルセンター」では、CNC 工作機械のロボドリル、ロボショット、ロボカット等の仕組み、作業工程や製品、精密な加工を行うファナックの独自 FA 技術を使ったロボマシン等を視察した。「稲葉記念館」では、創業者の工学博士・稲葉清右衛門氏の技術者や商品開発、販売の経営理念や、ファナック株の FA の NC 黎明期から CNC の発展の過程、多関節・知能ロボットの開発進化から人と協業するロボット、ロボマシンの製品群等を視察した。「機械加工工場」では、ファナックロボットセルを導入した、夜間、週末を含む長時間の無人運転や工作機械、ロボットの稼働モニタを活用した設備の稼働率向上、精度変化の把握による加工不良の削減の現場、工場環境を維持するためのミスト量、温度、照度の見える化等を視察した。また、「ロボット工場」では、ロボット製造工程、自動出荷検査の過程等を視察した後に、本社会議室に戻り、質疑応答を行い、視察を終了し、ホテル鐘山苑に戻った。



創業者・稲葉清右衛門氏の言葉(稲葉記念館)



つくば科学万博出展ロボット「FANUC MAN」

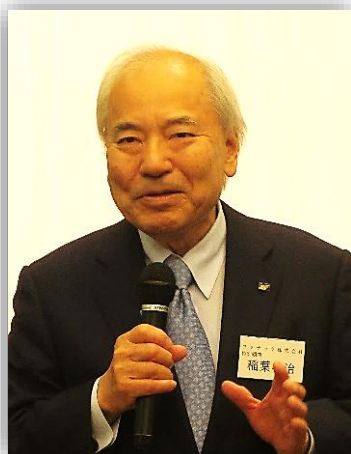


記念撮影(ファナック株)

その後、「シンフォニーホール」において懇親会を行い、金花副会長の挨拶、ファナック株 特別顧問の稲葉善治氏の挨拶の後、田川和幸副会長兼専務理事の乾杯発声の後、懇談を実施した。



日機連 金花副会長  
懇親会挨拶



ファナック株 特別顧問  
稲葉善治氏挨拶



日機連 田川副会長兼  
専務理事 乾杯発声



懇親会風景

〔総務部〕

# Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

## 『海事大国復活を目指す』

ワシントンコア社は長期間にわたって米国の海事に関する情報をフォローしており、海運、造船、港湾を巡る最近の動向について今年8月にまとめた情報を当会に提供いただきました。

トランプ政権は海事セクターを非常に重視しており、造船業の復活や外国籍船に対する圧力の強化、港湾からの中国製品の排除等、政権発足以降、次々に政策を発表しております。10月には、中国企業が運航・所有する船舶や、中国で建造された船舶、自動車運搬船等(中国に限らず日本の船舶等も含む)の米国港湾への入港に追加料金を課す措置が開始されました。同措置は米中首脳会談によって11月から1年間停止することとなりましたが、一時、日本の海運企業を含め海事産業が大きく混乱し、今後も状況を注意深くフォローする必要があると考えております。

米国の海事産業におけるこれらの動きは、日本にも大きく影響することもあり、当会会員の皆様にも関心が高いテーマであると存じます。

記事の詳細は下記 URL をクリックください。



記事の詳細は、画像か下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/12/WCOREtr7.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

WASHINGTON | CORE

● 政府公開情報

## 経済産業省「JIS 規格の総ざらいレビュー」の実施について

経済産業省では、同省のホームページにおいて、「JIS 規格の総ざらいレビュー」の実施について公開しましたので、お知らせします。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/11/20251127007/20251127007.html>

経済産業省は、(1)JIS 規格の網羅的な調査・検証とそれを踏まえた公共調達等との連携強化、(2)既にニーズが把握できている案件等の先行対応、を内容とする「JIS 規格の総ざらいレビュー」を実施します。公共調達を契機として、JIS 規格に基づく安全性や信頼性が客観的に担保された製品やサービスをより一層浸透させることで、国民生活の安全・安心や製品等の質の確保を進めるとともに、企業にとってのビジネスチャンスの拡大にもつなげていく予定です。

経済産業省では、約 11,000 件(2025 年 3 月末時点)存在している JIS 規格の総ざらいレビューを実施し、それぞれの JIS 規格の公共調達における活用状況等を網羅的に把握した上で、公共調達において活用することのできる JIS 規格を特定し、具体的に対応を進めることとしています。なお、JIS 規格と公共調達との連携は、競争性の確保等の調達ルールを遵守することを前提に行われます。

〔総務部〕



新宿・花園神社の酉の市 (写真提供:T.S.様)


 日機連の動き

## ○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
12月	9日(火) 15:00～	第13回 GVC 研究委員会&第14回企業マネジメント研究委員会(合同開催) テーマ:「2026 地経学重要論点と、日本企業が激動の世界で戦うための M&A・ステークホルダーとの向き合い方(仮)」 講師:地経学研究所 経営主幹 新興技術グループ長 / (株)経営共創基盤 取締役 CLO M&A アドバイザリーグループ 統括責任者 塩野 誠 様	日機連会議室 1
	9日(火) 15:00～	第491回総務連絡会及び懇親会	日機連会議室 3
	10日(水) 17:00～	2025年度第3回日機連記者室運営企画検討委員会・大阪機械記者クラブ幹事社と大阪機械広報懇話会役員との懇談会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	11日(木) 14:45～	第656回海外・産業動向懇談会及び懇親会	日機連会議室 1
	15日(月) 13:30～	第103回社員満足向上懇話会・実務担当者部会及び懇談会(大阪事務所)	梅田センタービル
	17日(水) 13:30～	第716回総務懇話会・懇談会(大阪事務所)	大阪大学 吹田キャンパス
	17日(水) 14:00～	講演会「(独)中小企業基盤整備機構 活動のご紹介 ～サプライチェーンを通じたカーボンニュートラル・CO <sub>2</sub> 排出量削減のススメ～」 講師:中小企業アドバイザー 北林 博人氏 経営支援部企業支援課 北島 碧氏	日機連会議室 1
	22日(月) 14:30～	第12回 GX 研究委員会 テーマ:「成長戦略としての資源循環経済の確立に向けた取組について(仮)」 講師:経済産業省 GX グループ 資源循環経済課長 三牧 純一郎 様	日機連会議室 1 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: white; font-weight: bold;">お試し WEB 参加募集中</div>
2026 1月	7日(水) 13:00～	日機連東京 2026 年賀詞交歓会	日機連会議室 1
	13日(火) 11:00～	日機連大阪 2026 年賀詞交歓会	リーガロイヤル ホテル大阪


 会員イベント情報

**(一社)日本電機工業会 第 120 回新エネルギー講演会「水のチカラで未来を動かせ！  
～水力発電の“これから”を語ろう～」 開催のお知らせ**

[一般社団法人 日本電機工業会\(JEMA\)](#)では、水力発電の利活用拡大に向けた活動の一環として、講演会を開催いたしますのでお知らせいたします。水力発電は、安定して出力でき、適切なメンテナンスによって 100 年以上の長期に亘って稼働できることが特長です。また、揚水発電は、太陽光発電や風力発電など天候によって出力が変動する再生可能エネルギーの調整力として、その重要性は近年益々高まっています。

本講演会では、次世代の水力発電を支える若手エンジニアが登壇し、前半の一般講演では、水力発電／揚水発電の最新技術動向を紹介、後半のパネルディスカッションでは、エンジニアが水力発電への率直な思いを語ります。また、資源エネルギー庁 電力基盤整備課 月村様には、基調講演として「水力発電の利用拡大に向けて」についてご講演いただくほか、パネルディスカッションにもご参加頂きます。水力発電の将来を担う学生の皆様や水力発電ご関係者、そして水力発電にご関心のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

**講演会「水のチカラで未来を動かせ！～水力発電の“これから”を語ろう～」概要**

- 日 時：2025 年 12 月 23 日(火) 13:30～16:40
- 開催形式：対面(JEMA 会議室)及びオンライン(Microsoft Teams)  
     [対面参加][東京都千代田区一番町 17-4 電機工業会館](#) 6 階会議室  
     \* お申し込み頂いた方には、12 月 22 日(月)を目途に URL 等をご連絡申し上げます。
- 参加費：無料 ■ 定員：対面(JEMA 会議室)：50 名 ■ 申込締切日：2025 年 12 月 19 日(金)
- プログラム(予定) ※都合により、プログラムは予告なしに変更となる場合があります。
- ◆ 13:30 開会挨拶：森淳二様 (水力発電 WG 主査)
- ◆ 13:35 基調講演：水力発電の利用拡大に向けて 月村梨緒様(資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力基盤整備課)
- ◆ 14:10 一般講演：1.揚水発電の未来を支える技術と投資 ～国内外の事例から～ 大村 嘉様(日立三菱水力株)  
     2.発電量最大化を目指した最適発電計画方式の取り組みについて 栗原世治様(株明電舎)  
     3.環境・地域に調和した中小水力発電の事例紹介 箕輪知哲様(富士電機株)  
     4.未来のエネルギーを支える！可変速揚水発電システム 牧野駿介様(東芝エネルギーシステムズ株)
- ◆ 15:30 パネルディスカッション：～若手エンジニアが語る、水力発電への思い～  
     特別パネリスト：月村梨緒様(資源エネルギー庁) モデレータ：小林 航様(日立三菱水力株)  
     パネリスト：伊藤健二様(株明電舎)、高橋公史様(東芝エネルギーシステムズ株)、  
     箕輪知哲様(富士電機株)、森 淳二様(水力発電 WG 主査)
- ◆ 16:35 閉会挨拶：震明克眞様(水力発電 WG 委員)


**一般社団法人日本電機工業会**

説明会の詳細及びお申込については、[\(一社\)日本電機工業会の公式サイト](#)をご参照ください。

問合せ先：(一社)日本電機工業会 電力・エネルギー部(穂谷・永岡)

E-mail: [newenergy-seminar@jema-net.or.jp](mailto:newenergy-seminar@jema-net.or.jp) ※@は半角に直してください。 Tel: 03-3556-5885

(一社)日本電気計測器工業会  
「電気計測器の中期見通し 2025～2029 年度」版発行・発表会 (Web 会議) のご案内

一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)の調査・統計委員会では、日本で唯一の「電気計測器に的を絞った」市場見通しに関する発表会を今年も開催します。あわせて、経済産業省ご担当官様による経済動向や各種統計に関する講演会も開催します。計測制御機器に関わる多くの方のご参加をお待ちしております。

「電気計測器の中期見通し」は、JEMIMA 調査・統計委員会が会員企業のアンケートに基づき毎年発行している、電気計測器の売上実績および向こう 5 年間の市場見通しをまとめたものです。電気計測器市場の国内外の状況や今後の見通しをまとめた、他に無い貴重な資料です。

記

「電気計測器の中期見通し 2025～2029 年度」版発行・発表会(Web)の概要

日 時：2025年12月12日(金) 13:30～16:20 (13:00接続開始)

見逃し配信：2025年12月15日(月) 17:00～2026年1月16日(金) 20:00 (実施予定)

開催形式：Zoom社 Zoom Webinars (ウェビナー)

定 員：200名(先着順) ※申込者が定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

参加費：JEMIMA会員・・・無料 一般の方・・・5,500円/1名(消費税含む)

主 催：(一社)日本電気計測器工業会 調査・統計委員会

発表会スケジュール

13:30～13:35 開会の挨拶 JEMIMA 専務理事 江口純一様

13:35～14:15 基調講演「統計データでみる日本経済(仮題)」  
経済産業省 大臣官房調査統計グループ長 竹田 憲様

14:15～14:25 中期見通しの概要 委員長 山口 和宏様(大崎電気工業株)

14:25～14:40 電気測定器の需要見通し 主査 岩木光宏様(横河計測株)

14:40～14:55 環境計測器の需要見通し 主査 岩本基様(東亜ディーケーケー株)

15:10～15:25 放射線計測器の需要見通し 主査 賀川 武様(株東芝)

15:25～15:40 電力量計の需要見通し 主査 下中祐介様(株エネゲート)

15:40～16:15 PA計測制御機器の需要見通し 主査 山田新様(株日立ハイテクソリューションズ)

16:15～16:20 講評 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之様

※上記の参加費に冊子「電気計測器の中期見通し」の頒布価格は含まれておりません。冊子につきましては、別途 Web サイトからお申込み下さい。〈冊子の申込開始は、12月15日(月)以降を予定しています。〉

※ 当日の配布資料は、事前に Web サイトからダウンロードして頂きます。〈ダウンロードと Web 会議のミーティングリンクのご案内は 12月11日(木)を予定しています。〉

※ 一般でお申し込みの方へのご請求方法につきましては、公式ホームページの案内をご参照ください。

セミナーの詳細や申込は、こちらから公式ホームページをチェック!!

問合せ先:(一社)日本電気計測器工業会 調査・統計委員会 事務局 牟田宛

電話:03-3662-8181 E-mail:[chousa.toukei@jemima.or.jp](mailto:chousa.toukei@jemima.or.jp)



## お知らせ

(一社) 日本電気制御技術工業会  
「10 分でわかる DX 推進の失敗事例と成功事例」創刊のお知らせ

一般社団法人 日本電気制御技術工業会(NECA)の「ものづくり・ことづくり委員会」では、この度、公式 WEB サイトにて、4 コマ漫画シリーズ「10 分でわかる DX 推進の失敗事例と成功事例」を創刊いたしましたのでお知らせいたします。

本シリーズでは、近年注目されている DX(デジタルトランスフォーメーション)における製造業の具体的な事例を、4 コマ漫画と解説を通じて分かりやすくご紹介しています。DX に関心はあるものの、どのように進めればよいかお悩みの方々に向けて、実践のきっかけとなることを目指して制作されました。

テーマごとに、ポイントを押さえた漫画とその解説を掲載し、DX に対する基本的な考え方を紹介しています。さらに、失敗事例と成功事例を分けて紹介することで、ご自身の職務に照らし合わせながら検討いただける構成となっています。今回の『DX 推進の失敗事例と成功事例』をお読みいただき、DX 実践の一助となることを期待しております。

今回の「10 分でわかる DX 推進の失敗事例と成功事例」は、PDF ファイル版を無料ダウンロード配布することとなりました。スマートフォンやタブレットでもご覧いただけますので、DX に関する知識習得にぜひお役立てください。NECA では、これまでも『10 分でわかる機械安全』を発刊しており、「10 分でわかる〇〇シリーズ」として、4 コマ漫画を活用しながら、さまざまな事象や事例を分かりやすくお伝えしていきたいと考えています。

記

[PDF ファイル版「10 分でわかる DX 推進の失敗事例と成功事例」へのリンクはこちらから！！](#)

<お問い合わせ先> 一般社団法人 日本電気制御技術工業会 事務局 三河内  
東京都千代田区内神田 3 丁目 23-5 神田セブンビル 9F  
TEL : (03)6285-2969 e-mail : [webmaster@neca.jp](mailto:webmaster@neca.jp)



他にも、(一社)日本電気制御技術工業会では、下記の刊行物 PDF の無料ダウンロードを配布しております。

(一社) 日本電気制御技術工業会 ダウンロード配布一覧

- ・10 分でわかる DX 推進の失敗と成功事例
- ・制御機器の基礎知識【プログラマブル表示器(PD)編】、【スイッチ・表示灯編】、  
【プログラマブルコントローラ(PLC)編】、【リレー編】、【センサ編】
- ・10 分でわかる機械安全
- ・安全ガイドブック – 製造現場における安全方策 –
- ・制御盤内の電線接続方式 ~ 端子・締付具の課題と対応 ~
- ・電気制御機器の環境アセスメントガイドブック

[公式ホームページのダウンロードサイトへのリンクは、こちらから！！](#)

(一社)日本電気計測器工業会「計測展 NEXT 2026  
(Measurement and Control Show NEXT 2026)」出展募集のお知らせ

[一般社団法人 日本電気計測器工業会\(JEMIMA\)](#)が主催しております「計測展 OSAKA」は、「計測展 NEXT」として2026年、新たなステージへ生まれ変わります！

DX の加速、AI の進化、そして社会・産業の大変革時代に「計測・制御・情報」の力を結集し製品や技術の紹介にとどまらず、“学び・考え・つながる”場として進化します。「NEXT=未来」の種を持ち寄り、共に育て、新しいスタイル・価値・可能性を発信するそんな「ワクワク」する熱気あふれるフェスティバルを目指します。

この度、計測展 NEXT 2026 公式サイトでは、出展・協賛申込受付を開始しましたのでお知らせいたします。

記



「計測展 NEXT 2026」開催の概要

会 期：2026 年 10 月 21 日（水）～10 月 23 日（金） 10:00～17:00

会 場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51

開催コンセプト：計測・制御・情報のフェスティバル

PR メッセージ：共創で築く未来へのイノベーション

主 催：（一社）日本電気計測器工業会

出展・協賛受付締切：2026 年 5 月 29 日(金)

出展対象分野：

【センサ・測定機器】 流量計、温度計、液位計、圧力計、水質計、電気測定器、指示計器、電力量計、電子測定器、環境計測器、放射線計測器、プロセス測定機器、分析測定機器、スマートメーター、FA センサ、IoT センサ、【エネルギー関連】 省エネ機器、新エネルギー機器、【通信機器】 情報伝送装置、周辺通信装置、【制御システム】 FA 制御システム、PA 制御システム、分散型制御システム(DCS)、安全計装システム(SIS)、【制御機器】 アクチュエータ、プログラマブルコントローラ、FA 機器、電源装置、グラフィック表示装置、安全制御装置、監視表示装置、【ソフトウェア】 制御ソフトウェア、組込みソフトウェア、産業用ロボット、自動化技術、自律化技術、センサネットワーク技術、スマートメンテナンス技術、【生産・保安全管理】 生産管理システム、TCO 削減、監視保全システム、予知保全/予防保全、生産性向上、省力化/省人化技術、現場の見える化技術、現場の技術伝承、【IT・DX・AI 技術】 エッジコンピューティング、設計製造支援、標準化ソリューション、IoT 技術、M2M 技術、デジタルツイン、サイバーフィジカルシステム、コネクテッド製品、ウェアラブル製品、産業用インターネット、【セキュリティ・分析】 情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、データサイエンス、データ分析、DX コンサルティング、IT コンサルティング【人財育成/トレーニング】 【アカデミア/学会】

[「計測展 NEXT2026」公式サイトへのリンクはこちら！！](#)

[「計測展 NEXT2026」出展・協賛のご案内はこちらから！！](#)

[「計測展 NEXT2026」出展・協賛案内パンフレットはこちら](#)





# 機械のチカラ (第4回)



## (一社)日本時計協会の概要と時計に関する情報について

日機連は、連合会として機械工業と密接な関連を有する様々な業界団体様に「団体会員」として、ご加入頂いております。このコーナーでは、日本の機械工業を支える、当会の団体会員様をご紹介させていただきます。

古代より「時間」を支配する者は、「空間」をも支配するとされ、王権や宗教の権力の支配の象徴とされてきたのが、「時間」を把握するための「暦」です。(平安時代の「陰陽師」は、天文観測、占術、暦の作成、時刻の管理等を通し国家運営を支える国家公務員でした) 今回ご紹介するのは、現代でも人間の生活の基盤となる概念、時間にかかわる「時計」の協会様です。

**概要:** 一般社団法人 日本時計協会(JCWA)は、時計の製造及び販売を行う企業等によって構成され、時計の生産、貿易、流通、消費の増進並びに時計産業に係る国際交流の促進を通じて、我が国時計産業の総合的な発展を図る活動を行っています。

**歴史:** 昭和 23 年(1948 年)4 月 15 日に日本時計協会が設立、昭和 57 年(1982 年)11 月に社団法人化(社団法人 日本時計協会)し、平成 23 年(2011 年)4 月 1 日に一般社団法人 日本時計協会に改組しました。

**業種:** 時計製品全般を取り扱います。同協会の発表によると、2024 年の日本の時計メーカー(日本時計協会会員企業)の時計完成品の総出荷(輸出と国内出荷の合計)は以下の通りです。



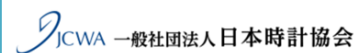
種 別	数 量	金 額
ウォッチ	49.7 百万個 (前年並み)	2,938 億円 (前年比 5%増)
クロック	5.3 百万個 (前年比 10%減)	144 億円 (同 7%減)



**活動:** 時計産業に関わる各種統計の作成、時計をより安全・快適に使用していただく為の情報提供、時計に関する ISO や JIS 規格の制定や改正、国内外の環境法などの法的規制への対応、国際会議を通じて各種課題、問題についての意見交換や国際協調、技能五輪全国大会「時計修理職種」の運営、東日本大震災被災地復興支援や経済産業省こどもデーに於ける「時計組立教室」開催等の社会貢献活動、他に通商・知財等の関連業務も行っております。

同協会のWEBサイトでは、時計に関する以下の情報を掲載しています。

- ・時計に関する知識(時計の技術、性能等) ・環境への取り組み
- ・統計データ(日本の時計産業の動向と時計の世界生産推定等)
- ・「時」と「時計」のエトセトラ(時計の歴史、和時計の世界、日本の時計産業概史、時と時計の豆知識等)
- ・時計関連情報(時計のミュージアム情報、時計展示会情報等)
- ・キッズタイム(時と時計を楽しく学ぼうコーナー) <https://www.jcwa.or.jp/kids/index.html>



「**和時計の世界**」では、江戸時代に初めて機械時計が製作され、極めて特殊な時計として発達した和時計について、写真や画像も含めて、詳しく紹介されています。<https://www.jcwa.or.jp/etc/wadokei.html>

「**時計のミュージアム情報**」では、国立科学博物館、セイコーミュージアム銀座、大名時計博物館等、日本各地の時計展示の情報が掲載されています <https://www.jcwa.or.jp/info/resourcecenter.html>

**[時計の専門業界団体、\(一社\)日本時計協会のホームページへのリンクはこちら!!](#)**